

平成29年度

三大学教養教育共同化

単位互換科目
履修ガイド

目 次

単位互換科目履修の手続について	1
単位互換科目一覧	3
単位互換科目概要一覧	4
三大学キャンパスへの交通アクセス	10
聴講願提出用紙	11



京都三大学
教養教育研究・推進機構
Institute of Liberal Arts and Sciences



京都工芸繊維大学



京都府立大学



京都府立医科大学

単位互換科目履修の手続について

1 三大学教養教育共同化単位互換制度の目的

京都工芸繊維大学、京都府立大学及び京都府立医科大学（以下「三大学」という。）では、学生のみなさんが、教養教育に係る授業科目を幅広く選択履修できるようにして、様々な角度から総合的に物事を観察し的確に判断できる能力と豊かな人間性を養っていただくとともに、大学間の学生交流を深めてもらうために、単位互換制度を活用して、教養教育の連携を進めることとしました。

2 単位

修得した単位は、一定の範囲内（各大学・各学科等により異なります）で卒業に必要な単位として認定されます。詳細は所属大学の教務担当にお問い合わせください。

3 受講できる単位互換科目

三大学がそれぞれ提供する単位互換科目は、3ページの表のとおりです。各大学の配当年次に関わりなく履修することができます。講義概要（シラバス）は、三大学Webシステム（URL：https://syllabus-web.kpu.ac.jp/syllabus_compatible/、各大学HPからもリンク）でも参照できます。

4 受講日、授業時間

科目提供大学の学年暦、時間割にしたがって開講されます。共同化科目のように統一した授業日、時間割は設定されておりません。

5 開講場所

科目提供大学で開講されます。受講を希望する場合には、前後に履修する授業に支障が出ないよう、大学間の移動に要する時間等を十分考慮してください。

6 出願手続

前期科目・後期科目に分けて、次のとおり出願受付を行います。提出書類は、「三大学教養教育共同化 特別聴講学生聴講願」（11ページ）です。

所属の大学（学科）	受付窓口	出願期間
京都工芸繊維大学	学務課学部教務係	前期：4月6日（木）～4月11日（火） 後期：9月27日（水）～10月3日（火）
京 都 府 立 大 学	学務課教務担当	
京都府立医科大学（医学科） // （看護学科）	教養教育事務室 学生課看護学科担当	

7 受講許可

出願後、科目提供大学で選考が行われます。選考結果（許可・不許可）は、所属大学を通じて出願者に通知します。

8 その他

(1) 特別聴講学生証

受講を許可された学生は「特別聴講学生」と称し、「特別聴講学生証」を交付します。

(2) 仮受講

出願後、履修許可があるまでに授業が開始される科目については仮受講してください。出願者多数の場合は、受講を制限することがあります。

(3) 休講・補講・教室変更等の連絡

休講等の連絡は、次のとおり大学ごとにその方法が異なりますので、注意してください。

京都工芸繊維大学	京都工芸繊維大学学務課HP
京都府立大学	受講学生所属大学内掲示板
京都府立医科大学	受講学生所属大学内掲示板

(4) 成績・単位認定

成績評価は科目提供大学が行い、単位認定及び本人への通知は所属大学が行います。

平成29年度三大学教養教育共同化単位互換科目一覧

京都工芸繊維大学(9科目) 開講場所:工繊大キャンパス

科目番号	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	備考
10160086	京のサステナブルデザイン	久保雅義・(市原増夫)・ (益田文和)・(水間健介)	2	2年次(前)	4/6(木)、4/22(土) 14:00～17:00 5/13(土) 14:00～17:00、 5/20(土) 14:00～17:00、 5/27(土) 14:00～17:00、 6/10(土) 9:00～17:00、 6/17(土) 14:00～17:00	初回ガイダンスは4/6(木) 17:50～19:20 (3号館0311講義室)(予定)
10160007	京のまち	石田潤一郎・中川理・清水重敦・ 矢ヶ崎善太郎・岩本馨	2	3年次(後)	木曜日 5限	
10160011	情報セキュリティと情報倫理	桝田秀夫・永井孝幸・森 真幸	2	1年次(後)	金曜日 5限	
10161074	地球環境論a	山田 悦	2	1年次(前)	水曜日 5限	
10161075	地球環境論b	岩崎 仁	2	1年次(前)	水曜日 5限	
10160016	テクノロジー論	秋富克哉	2	2年次(後)	木曜日 2限	
10160213	生命倫理と環境倫理	秋富克哉	2	2年次(前)	火曜日 6限	
10160223	健康体力科学	芳田哲也 他	2	2年次(後)	火曜日 5限	
10160055	生体行動科学	野村照夫・来田宣幸	2	2年次(前)	金曜日 1限	

京都府立大学(26科目) 開講場所:府立大キャンパス(原則として共同化施設「稲盛記念会館」)

授業コード	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	備考
6110150	スポーツ科学	青井 渉	2	1年次(後)	火曜日 4限	
6110250	心の健康	村上貴栄	2	1年次(後)	(後期集中)	日程は後日連絡
6110260	おいしさの科学とデザイン	宗田好史 他	2	1年次(後)	金曜日 5限	
6120010	日本の文学と文化I	安達敬子	2	2年次(前)	火曜日 5限	
6120020	日本の文学と文化II	母利司朗	2	2年次(後)	火曜日 4限	
6120080	人間生物学	椎名隆	2	2年次(後)	金曜日 4限	
6120140	人権論I	川瀬真也 他	2	2年次(前)	月曜日 1限	
6120150	人権論II	織田昌幸 他	2	2年次(後)	月曜日 1限	
6120170	現代社会と法	小林直三	2	2年次(後)	月曜日 3限	
6120180	日本国憲法	小林直三	2	2年次(前)	月曜日 1限	
6120320	物理学II	春山洋一	2	1年次(後)	木曜日 2限	
6120330	化学I	上田純平	2	1年次(前)	火曜日 1限	
6120340	化学II	リントゥルオト正美	2	1年次(後)	火曜日 4限	
6120350	生物学I	山下博史	2	1年次(前)	水曜日 1限	
6120360	生物学II	山下博史	2	1年次(後)	金曜日 1限	
6120370	数学I	岩崎雅史	2	1年次(前)	水曜日 5限	
6120380	数学II	岩崎雅史	2	1年次(後)	火曜日 4限	
6120390	情報の科学	吉富康成	2	1年次(後)	火曜日 1限	
6120400	現代の環境問題	春山洋一 他	2	2年次(後)	木曜日 3限	
6120520	食文化原論	佐藤洋一郎 他	2	1年次(後)	金曜日 3限	
6120540	京都の地域創生	田中和博 他	2	1年次(後)	木曜日 2限	
6120560	米と日本の食文化	佐藤洋一郎	2	1年次(前)	(夏期集中) 8/18(金)、 9/1(金)、9/8(金)、 9/22(金)、9/29(金) の3～5限	
6120570	和食の歴史	上田純一	2	1年次(前)	火曜日 4限	
6120580	茶の湯の懐石から和食文化を知る	筒井紘一	2	1年次(前)	(前期集中)	日程は後日連絡
6120590	歴史の中の「病」と「食」	上田純一	2	1年次(後)	火曜日 4限	
6120600	食と文芸	藤原英城 他	2	1年次(後)	水曜日 5限	

京都府立医科大学(3科目) 開講場所:「情報科学」及び「音楽」は医大広小路キャンパス 「生命有機化学」は共同化施設「稲盛記念会館」

科目番号	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	備考
200021	情報科学ー看護研究における パソコンの活用法ー	浅野弘明	2	1年次(前)	金曜日 3限	
200006	音楽	山上友佳子	2	1年次(前)	水曜日 4限	
200019	生命有機化学	鈴木孝禎 他	2	1年次(後)	金曜日 3・4・5限	

注1) 配当年次の(前)、(後)は、それぞれ開設される学期が前期か後期かを示す。
 注2) 単位互換にあっては、配当年次に関わりなく履修することができるものとする。
 履修登録時の参考とするために提供大学の配当年次を掲載した。

平成29年度三大学教養教育共同化単位互換科目概要一覧

京都工芸繊維大学(9科目) 開講場所:工繊大キャンパス

科目番号	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
10160086	京のサステナブルデザイン	久保雅義 (市原増夫) (益田文和) (水間健介)	2	2年次(前)	4/6(木)、4/22(土) 14:00～17:00 5/13(土) 14:00～17:00、 5/20(土) 14:00～17:00、 5/27(土) 14:00～17:00、 6/10(土) 9:00～17:00、 6/17(土) 14:00～17:00	本取組は1200年もの間、循環型生活様式を継承してきた「京都の“知”」から、ものづくりを通して環境課題の解決手法を学び、地域創成を推進する人材を育成することを目的とした取り組み。サステナブルデザインとは、可能な限り地球環境へ負荷をかけない製品やライフスタイルを創出し、新しい生活価値や美意識を創造すること。 ※ここで言うデザインは広義の意味、設計や計画を指し、デザイン専攻でなくても受講可能である。
10160007	京のまち	石田潤一郎・ 中川 理・ 清水重敦・ 矢ヶ崎善太郎・ 岩本 馨	2	3年次(後)	木曜日 5限	歴史都市として豊かな文化的背景を持つ京都の町をテキストとして、まちづくりや都市デザインに関する実践的な知識を、その歴史の中から学ぶことを目指す。内容は、歴史・地形・景観・建築・産業構造などをベースに、さまざまな角度から都市を分析する方法を紹介する。
10160011	情報セキュリティと情報倫理	榎田秀夫 永井孝幸 森 真幸	2	1年次(後)	金曜日 5限	情報化が進化した社会において、情報機器と情報通信ネットワークを利用した情報のやりとりは、日常生活や仕事に必要な不可欠なものである。そのような情報社会において、情報セキュリティ技術が果たしている役割とその機能について議論するとともに、各自が情報の受け手であると同時に送り手であることを認識し、情報を扱うときに生じる責任、適正な情報のやりとりをするために必要なルールや心構え、つまり、情報に関連した法規や情報モラルについて議論する。
10161074	地球環境論a	山田 悦	2	1年次(前)	水曜日 5限	地球環境の成り立ち、地球科学の基礎的な知識について説明し、最近の地球環境問題について、水、大気、土壌、生物等に関して具体的な例を上げて解説する。環境関連の法律及び地球を守る技術としてのエコテクノロジーについて解説し、科学技術の発展と人間の生活を自然環境に調和させることの大切さを講述する。
10161075	地球環境論b	岩崎 仁	2	1年次(前)	水曜日 5限	概要:地球環境の成り立ちや地球科学の基礎的な知識について説明し、最近の地球環境問題について、水、大気、土壌、生物等に関して具体的な例を上げて解説する。また、環境マネジメントシステムや環境関連法規、地球を守る技術としてのエコテクノロジー、さらにエコロジー思想などについて解説し、科学技術の発展と人間の生活を自然環境に調和させることの大切さについて述べる。 目的:地球環境と人間の関わりについて理解し、環境問題解決のために何ができるか、何をすべきかを考える。
10160016	テクノロジー論	秋富克哉	2	2年次(後)	木曜日 2限	テクノロジーとは何か。この問いは今日ますます急務なものになっている。しかし、私たちは、様々なテクノロジーに取り巻かれ、それらを利用しながら、はたしてこの問いに真剣に向き合っているだろうか。本講義では、今日の技術と人間のあるべき関係の考察のために、歴史と現代という二つの視点からアプローチを試みる。1つには、過去の人間が技術と自然あるいは技術と人間の関係をどのように見ていたかを精神史的に眺めること、2つには、現代の科学技術の問題を考察するため「科学者／技術者の社会的責任」という主題に焦点を当てることである。特に後者については、原子力技術の展開をたどることとする。
10160213	生命倫理と環境倫理	秋富克哉	2	2年次(前)	火曜日 6限	科学技術の急速の進歩は、私たちの生活に数多くの恩恵をもたらしている一方で、過去にはあり得なかった様々な倫理的諸問題を産み出している。本講義では、特に「生命倫理」と「環境倫理」を取り上げて、「生命」と「環境」という、人間が生きていくことに直接に関わるこれらの領域で今どのようなことが起こっているのか、個々のトピックを取り上げながら考察して行きたい。本学の工学研究・教育との接点も積極的に考えていきたい。
10160223	健康体力科学	芳田哲也 他	2	2年次(後)	火曜日 5限	スポーツ(運動)を実施する目的は、健康増進、筋力・持久力向上、体重減量等、実施する個人によって多種、多様である。この講義では、それぞれの目的に応じた各種スポーツ(運動)について具体的事例を提示し、効果的な実施方法や留意点をスポーツ(運動)生理・栄養学、トレーニング科学および身体運動学等の学問分野から解り易く、実践向きに解説する。

科目番号	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
10160055	生体行動科学	野村照夫 来田宣幸	2	2年次(前)	金曜日 1限	生体行動に関する科学的知見を紹介する。それによって、身体、動作、スポーツ、健康に対する認識を発展させる。また、Human performanceへのアプローチの意義や問題点を考察する。

京都府立大学 (26科目) 開講場所:府立大キャンパス (原則として共同化施設「稲盛記念会館」)

授業コード	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
6110150	スポーツ科学	青井 渉	2	1年次(後)	火曜日 4限	運動による生体応答を述べた上で、体力・競技能力の向上や健康の維持において身体活動を効果的に行うための科学的原理について概説する。筋肉づくり、疲労、アスリートの食事、アンチエイジングなど、運動に関連する様々なテーマを取り上げ、身近な話題を例にあげて講義する。
6110250	心の健康	村上貴栄	2	1年次(後)	(後期集中) 日程は 後日連絡	「心の健康」という言葉が言われるが、実際に心は目に見えないため非常に分かりにくい問題である。心の健康を害した時に起こる「精神疾患」は我が国の五大疾病の一つとして数えられるまでになっている。 本科目では、精神疾患についての理解を深めるとともに社会的な問題となっている諸問題と「心の健康」についての関係について精神保健福祉の視点からとらえ、その解決・取り組みについて考える。また日常生活レベルで起こるストレスへの対処を考え、自分自身の心の健康についても考えていく。単なる講義形式ではなく、自分の振り返りや発表をしてもらう参加型の授業となる。
6110260	おいしさの科学とデザイン	宗田好史 他	2	1年次(後)	金曜日 5限	近年世界中の注目を集める和食の中心京都では、陶磁器や漆器などに代表される数々の和食器が生産され、数寄屋建築や造園業など料理文化の空間を演出する多様な職人の皆さんが活躍しておられます。 また今も4万軒以上残る町家や社寺には伝統行事と伝統的食文化が伝えられています。京都特有のこの豊かな和食の環境を題材においしさの科学とデザインについて学ぶ授業です。授業は栄養学、環境工学、デザイン学それぞれ専門の立場からおいしさを評価する仕組みを語り、それらが総合され発揮される和食に込められた創意工夫の数々を説明していきます。
6120010	日本の文学と文化I	安達敬子	2	2年次(前)	火曜日 5限	日本の四季と平安宮廷文学 古典文学に描かれた季節と時間から古代日本人の自然観・季節感を考察する。 古典の文章を正確に読み取って古代から中世における日本人の感受性を理解する。
6120020	日本の文学と文化II	母利司朗	2	2年次(後)	火曜日 4限	日本文学・日本文化を、広く知り、深く考えるためのきっかけとして、前半に身近な御伽草子を取り上げます。『一寸法師』と同じような小男が登場する『小男の草子』の様々な場面を取り上げながら、トピック的に授業を進めていきます。後半では、東アジアの文化の中の日本文化という視点から、東アジア共通の思想としてあった〈孝行〉という考え方をとりあげ、説明をしていきます。〈孝行〉に関わる内容は、身近な祇園会の中にある〈孝行〉の話からはじまり、次第に話題を広げていきます。このような授業の理解度を確かめるために最終的にレポートを課します。
6120080	人間生物学	椎名隆	2	2年次(後)	金曜日 4限	親と子なぜ似るのか?ヒトはなぜ老いるのか?心とは何か?男と女の違いと性の存在意義は?など、人間に関係する基本問題について生命科学の立場から解答を探していく。また、生命科学技術と地球環境の問題や、生命操作技術についてのトピックスも紹介する。急速に発展しつつある現代の生命科学は、人間の福祉や健康、日常生活とも深く関わっている。現代人にとって、生命科学は重要な一般教養の一つである。本講義を受講することで、新聞や雑誌の生命科学関連記事を抵抗無く読めるようになることを目指す。理系、文系を問わず、様々なバックグラウンドの学生の受講を希望する。

授業コード	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
6120140	人権論I	川瀬貴也 他	2	2年次(前)	月曜日 1限	今日、生活のさまざまな場面において、人権の確立の必要性が求められている。また、人権保障は国内の問題にとどまらず、国際的協力のもとに達成すべき課題であることが、国際社会においても確認されてきている。さらに、学問研究においても、多くの分野で人権を視野に入れることの重要性が強調されるに至っている。こうした今日の人権状況に対応して、京都府立大学では全学的な協力体制のもと、多様な専門領域の教員がリレー方式で人権論の講義を担当することになっている。受講生が、今日の人権状況についての理解を深め、人権意識を高めるとともに、それらを日常生活や研究に活かしていけるようにすることが、本講義の目的である。
6120150	人権論II	織田昌幸 他	2	2年次(後)	月曜日 1限	今日、生活の様々な場面において、人権の確立・拡充の必要性が唱えられており、生命や環境に関する倫理や科学技術について知ることも重要となってきた。またこれら多くの学問研究分野においても、人権や社会倫理を視野に入れることの重要性が高まっている。そこで本講義では、生命環境科学系の教員が、リレー方式で各専門領域を中心に概説し、生命や環境に関する倫理について考える場としたい。なお本講義は人権論Iから継続する部分はあるものの、原則的には独立して受講しても理解できる内容であり、文系、理系に関わらず、多くの受講生の積極的な聴講を期待したい。
6120170	現代社会と法	小林直三	2	2年次(後)	月曜日 3限	この講義では、現代の社会で、どのような問題が法的に問題となっているのかを学習します。社会にはさまざまな問題がありますが、その中には法律によって対処されているものが多々あります。その中のいくつかを取り上げて、法律はその問題に対してどのように対処しているのかを学び、さらに進んで、なぜそのような法的対処がなされているのか、また、そのような法的対処は本当に望ましいのか、という点まで、受講者のみなさんに考えて欲しいと思います。そのための素材として、契約、婚姻、家族、マイノリティ、プライバシー等を取り上げて、皆さんが自分で考えるツールを提供したいと思います。
6120180	日本国憲法	小林直三	2	2年次(前)	月曜日 1限	「憲法」は、われわれの人権を保障し、かつ、国の統治機構の基本を定めています。それだけに、非常に重要なものですが、日本の「憲法」である「日本国憲法」の内容に関しては、必ずしも正確に理解されていない場合も多いものと思われます。そこで、この講義では、「日本国憲法」に関して、基礎から学び、その基本を理解することを目標とします。
6120320	物理学II	春山洋一	2	1年次(後)	木曜日 2限	物理学IIに引き続き、話題の範囲を近代物理学まで広げ、相対論、量子力学、物質の構造を主なテーマに講義する。相対論では時間が遅れ空間が縮むという常識的な時間空間概念が覆されるが、それが、光の速度が不変という実験事実と簡単な数学から導かれることを解説する。その延長上で質量とエネルギーが等しいこと、原子力エネルギーの本質を解説する。量子力学と物質の構造では、19世紀末から20世紀初頭の原子の発見が、(1)古典的力学の破綻と新しい量子力学に道を拓いたこと、(2)物質の構造と基本粒子の探求を推し進めたことを解説する。講義を通して、近代物理が切り開いた物理的世界観の到達点を理解することを目標とする。
6120330	化学I	上田純平	2	1年次(前)	火曜日 1限	皆さんの多くは高校で化学を履修したことでしょう。面白いと感じましたか?面白さを感じられた人は恐らく少ないでしょう。事項の丸暗記と盲目的な解法の習得に終始して面白さを感じられただけならむしろ不思議です。化学は「物質」を対象とする科学です。その対象は水素イオンとベンゼン環だけではありません。鉱物から生命体まで、宇宙に存在するありとあらゆる物質、分子、そして分子の集合体が化学という学問の対象なのです。この講義では色々な物質とそれにまつわる現象を通して、高校の化学ではないがしろにされていた「本質を知る」ことを体験して頂きます。皆さんの「生きる力」としての知識と教養を身につける機会として頂きたいと考えています。

授業コード	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
6120340	化学Ⅱ	リントゥルト正美	2	1年次(後)	火曜日 4限	化学は自然科学の一分野としてめざましい発展を続けてきた。現在、化学には現代社会における資源、エネルギー、環境問題をはじめとする人類の生存に関わる諸問題の解説に寄与することが切実にもとめられている。このような状況のもとで現代化学の基礎的な概念として何が確立されているか、また、それが自然界の理解にどのように関わっているのか、さまざまな諸問題との関連について理解することを目的とする。文系理系を問わず、化学に興味をもち、教養として化学の知識を身につけることを目的とする。基本的知識のおさらいをしながら、身近なトピックにふれつつ実験をまじえ理解を深める。
6120350	生物学Ⅰ	山下博史	2	1年次(前)	水曜日 1限	高校生物未履修者を対象に高校生物学の内容を中心に講義する。生物学の学習を始めるにあたり、生物とは何かという基本的な概念と生物の基本構造を学び、生物を構成する生体分子、生命活動の基本となる代謝、基本的な生命現象である細胞分裂や遺伝、発生、生体応答を学習し、最後に進化について考える。
6120360	生物学Ⅱ	山下博史	2	1年次(後)	金曜日 1限	生物学履修者、高校生物学既習者を対象に重要基本事項の解説を中心に講義する。非生物学専攻者への教養教育、生物学専攻者への専門教育への導入教育を目的とする。遺伝子の本体である、DNAについて、複製や形質の発現についてさらに詳しく学ぶ。また、生物学を学ぶ上で必要な生化学の基礎についても、エネルギー・反応速度論・酸化還元反応について解説する。生物における情報伝達のしくみとしてのシグナル伝達、神経、免疫について学習し、最後にバイオテクノロジーについて考える。
6120370	数学Ⅰ	岩崎雅史	2	1年次(前)	水曜日 5限	大域的な自然現象や社会現象から身近におこる些細な出来事に至るまで、数学を通じて理解できることは非常に多い。本講義のねらいは、今まで意識したことのない数学の存在に気づき、数学の面白さや奥深さを実感して頂くことにある。いくつかの興味深いトピックスについて、近年目覚ましい進歩をみせるコンピュータとの関係も交えながら講義を進める。ただし、専門的な予備知識は不要で、高校で学ぶ数列の知識があれば文系の学生にも十分理解できる内容である。理解を深めて頂くため定期試験前に6問のレポート問題を課す。
6120380	数学Ⅱ	岩崎雅史	2	1年次(後)	火曜日 4限	様々な現象はしばしば確率論の概念によって解釈されることがある。また、文系・理系問わず、卒業研究などで統計処理を必要とすることがある。本講義のねらいは、初等的な確率・統計論からなる「数理統計学」の基本的事項を習得して頂くことにある。理解を深めて頂くため、定期試験前に6問のレポート問題を課す。
6120390	情報の科学	吉富康成	2	1年次(後)	火曜日 1限	現代の情報社会の基盤となっているコンピュータ関連技術について概説し、その基本的な知識を身につけることを目的としている。急速な進展を遂げている現代のコンピュータ関連技術を解説し、それらがもたらしている色々な社会変革についても論じる。特にインターネットの社会における影響を分析するとともに、この発展に付随して表面化した社会的課題である情報倫理の問題なども取り上げる。そして、情報の法律やインターネット関係の犯罪、著作権等知的所有権についても言及する。
6120400	現代の環境問題	春山洋一 他	2	2年次(後)	木曜日 3限	現代の環境問題は、地球温暖化・酸性雨・オゾンホールの発生など地球規模で拡がり気候変動にまで影響する地球環境問題、ダイオキシン・環境ホルモン・残留農薬・工業化学物質などの環境化学物質による汚染、さらにはエイズ・抗生物質耐性菌などによる感染症の脅威、など多様な現れ方をしながら、それらが複雑に関連しあって発生していることが特徴である。本講義では、それぞれの成因や問題の現状を解説すると共に解決に向けての対策の方向について講義する。講義は3人の教員により行う。

授業コード	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
6120520	食文化原論	佐藤洋一郎 他	2	1年次(後)	金曜日 3限	「食とは何か」「人はどう食べてきたか」という問題意識を主軸に、生命と食との関係、人類が食を手に入れ、地域の気候や風土に対応して独自の食を發展させてきた過程を環境学的、人類学的な基礎知識として身につけ、あわせて食を学ぶ基本的姿勢として自然科学と人文科学を総合したアプローチの有効性と重要性を理解する。食にかかわる「知」が一般社会にある現状を踏まえ、それらを統合する学問としての食文化原論として展開する。さらに、東アジアという風土の中で、他と交流し、変容・定着を繰り返しながら現在に到った「和食」とこれを取り巻く文化的背景に着目し、食を切り口にして日本や京都の文化を学ぶとともに、21世紀に生きる我々が後世に伝承すべき文化の本質を考察する能力を養う。
6120540	京都の地域創生	田中和博 他	2	1年次(後)	木曜日 2限	地域には、自然とともに生きる知恵と工夫が共同のしくみによって蓄積されている。過疎・高齢化、都市間格差など様々な地域の課題を解決していくため、地域の自然、歴史、文化などの地域資源を基盤としながら、新たな変革の要素として六次産業や社会的企業、地域デザインなどの知識と技法を学び、個別分野や領域を超え地域を創生していく能力を修得する。
6120560	米と日本の食文化	佐藤洋一郎	2	1年次(前)	(夏期集中) 8/18(金)、 9/1(金)、 9/8(金)、 9/22(金)、 9/29(金)の 3～5限	栽培イネは1万年前に中国長江流域で生まれ、ゆつくりと日本列島を含む温帯アジアに展開し、水の豊かなモンスーン地帯の食文化の基盤となってきた。なかでも、日本では、古代国家の形成以後、米の豊作を最大の願いとし、米と魚の組み合わせを主体とした食文化を形成してきた。 日本人の米離れが進むいま、かつて日本人の食文化の中核にあった米の意義について、風土、生活、行事の中で果たしてきた役割、その精神的側面、モンスーンアジアとの比較など、幅広い視点から見つめ直すとともに、地球環境との関連の中での未来に向けた日本人の食文化のありようを考える。 なお、座学に加えて、炊飯、米の食べ比べの実習体験を行う。
6120570	和食の歴史	上田純一	2	1年次(前)	火曜日 4限	和食の成立と發展を支えてきた日本文化の多様性に触れることから、和食文化の特徴を体系的に捉える視点を養います。食文化の背景として、大陸の影響下、独自に發展した日本文化の諸相、神道と仏教、その習合が基底をなす信仰の文化、中でも禅宗の影響から生じた生活文化など、京都で發展した和食の歴史を知るため知識を養う文化論です。同時に、現在の京料理界と京都の食文化のルーツを歴史から探る講義です。また、比較文学の視点で、世界の中の日本文化の特質を知る力を養います。各国の歴史や数々の文学作品に描かれた食を通じて食文化を探り、比較文化論の視野から日本文化を創造的に探究しつつ、和食文化の未来を拓く力を養います。
6120580	茶の湯の懷石から和食文化を知る	筒井紘一	2	1年次(前)	(前期集中) 日程は 後日連絡	和食文化の真髄を知るには、和食の最高峰に位置する懷石料理とその背景にある茶の湯の精神を学ぶことが欠かせない。一汁三菜に四季の移ろいを映し、器物との調和や盛り付け、しつらえにより繊細な美しさを表現する懷石料理は、一座建立による直心の交わりを究極とし一期一会の出会いを最高に演出するもてなしを考え抜く茶の湯の精神世界において誕生した。さらにその根源を遡れば、茶の湯が、茶の服用を養生の術とみなし喫茶喫飯など日常の細事を修行の一部とした禅宗の精神を引き継ぎ、茶禅一味を重視することも見逃せない。 本講義では、いかに相手をもてなすかという工夫を凝らす懷石料理の精神とその成立の背景、並びに懷石料理の精神が重要な美学として和食文化や京都の伝統工芸に影響をもたらす今日に受け継がれていることを理解する。

授業コード	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
6120590	歴史の中の「病」と「食」	上田純一	2	1年次(後)	火曜日 4限	「食」の問題は、実は人々の「健康観」・「病観」、あるいはそれと対をなす「死生観」と不可分の関係をもっている。例えば、ある病に陥ったとき、治療のためにどのような食が必要なのか、あるいは逆に病の一因となる「食べあわせ」とはどのようなものか、またそもそも日本人の「病観」を形成したと考えられる仏教医学や本草学の世界では、食物はどのように位置づけられているのか等々、数え上げれば切りがない。本来、食べ物や食事は、それだけを採り上げることに余り意味はなく、人間との関わり合い、とくに「健康」や「病」との関係を無視して語ることはできないと言えるのである。 本講義では以上のような問題意識の下に、日本人が有した病観・死生観と食物の関係を、主として医療制度や仏教思想の面から歴史的・思想的に解明し、食文化のもつ新たな一面を考える能力を身につける。
6120600	食と文芸	藤原英城 他	2	1年次(後)	水曜日 5限	文学部と公共政策学部の協力を得て、食文化を考えるための授業。本講義はリレー講義により、日本と中国、欧米における文芸や社会制度上での「食」の表れ方を検討し、それらの意味や文化的背景について考察する。

**京都府立医科大学(3科目) 開講場所:「情報科学」及び「音楽」は医大広小路キャンパス
「生命有機化学」は共同化施設「稲盛記念会館」**

科目番号	授 業 科 目	担当教員名	単位数	配当年次	開講曜日・時限	科目の概要
200021	情報科学 —看護研究におけるパソコンの活用法—	浅野弘明	2	1年次(前)	金曜日 3限	パソコンや基本ソフトの操作方法の習得は、分野によらず、大学生にとって必須の事項となっている。この講義では、初心者向けの、キーボードのタッチメソッドやファイル管理、あるいは、電子メールの取り扱い方、さらには、情報セキュリティの基礎知識といった、基本的事項から始めて、各種資料作りで必要となるワープロソフト(ワード)の使い方、看護研究で必要となるデータ処理やグラフ作成で利用されている表計算ソフト(エクセル)の使い方、研究会や学会発表に欠かせない、プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の使い方を中心に、実習形式で電子化教材を用いて具体的に説明する。
200006	音楽	山上友佳子	2	1年次(前)	水曜日 4限	オペラを主に取り上げる。オペラは音楽のみならず、文学、演劇、美術などの要素を組み合わせで発展した総合芸術である。またオペラは音楽の中でも、大きな総合表現であり、様々な音楽的要素が精緻に組み合わせられている。この講義では、オペラの名作に触れ、それぞれの要素を解きほぐすことで、総合芸術がいかにより成り立っているかを映像や時に実奏も交えて論じていきたい。
200019	生命有機化学	鈴木孝禎 他	2	1年次(後)	金曜日 3・4・5限	ライフサイエンスにかかわる化学の基礎的コンセプトを、感覚的に理解することを目的とする。実際に体験し主体的に授業に参加してもらうため、プリントを用いた実習およびゼミナール形式で講義を進める。主に有機化学を対象とし、化合物の性質や挙動を実際に確かめる。

注1) 配当年次の(前)、(後)は、それぞれ開設される学期が前期か後期かを示す。
 注2) 単位互換にあっては、配当年次に関わりなく履修することができるものとする。
 履修登録時の参考とするために提供大学の配当年次を掲載した。

三大学キャンパスへの交通アクセス

京都工芸繊維大学



〒606-8585
京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7221
地下鉄烏丸線「松ヶ崎」下車東南へ 400m

京都府立大学



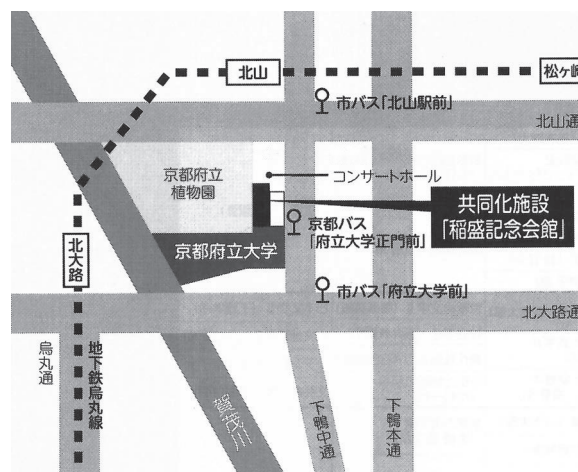
〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町 1-5
TEL 075-703-5118
地下鉄烏丸線「北山」下車徒歩 10 分
市バス「府立大学前」下車

京都府立医科大学



〒602-8566
京都市上京区河原町通広小路上の梶井町 465
TEL 075-251-5166
市バス「府立医大病院前」下車

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」



- JR 京都駅、阪急烏丸駅から
地下鉄烏丸線「北山」下車 1 番出口から南へ徒歩 7 分
- 京阪出町柳駅から
市バス「府立大学前」下車 徒歩 5 分
- JR 二条駅から
市バス「府立大学前」下車 徒歩 5 分

※施設周辺が工事のため、施設利用の際には、
府立大学正門からお入りください。

三大学教養教育共同化

特別聴講学生聴講願

					※選考結果	可・否	
出願者	ふりがな		男・女	学年		学生証 (学籍) 番号	
	氏名						
	生年月日	年 月 日					
	所属	京都工芸繊維大学 京都府立大学 京都府立医科大学					
		学部 学域		学科 系 課程		専攻	
連絡先	E-mailアドレス			携帯電話番号			
出願科目	開講大学	京都工芸繊維大学 京都府立大学 京都府立医科大学(医学科・看護学科)					
	科目名		科目番号 授業コード				
	期間・曜日・時間	前期 後期 (曜日 時限)					
	希望理由						

記入上の注意 1: 1科目について1枚記入してください。

2: 「所属」欄の大学名は、該当する大学名を○で囲んでください。

3: 「開講大学」欄は、該当する大学名(府立医科大学の場合は、学科まで)を○で囲んでください。

4: 「科目番号・授業コード」欄は、京都府立医科大学の開講科目の場合は記載する必要はありません。

5: ※欄は、記入しないでください。